



### 西成情報局

## 西成区区政会議 各部会の開催とフィールドワーク

西成区では、こども部会、にぎわい部会、安全あんしん部会を開催し、より良い区政運営に活かすため、各部会でそれぞれのテーマ(こども部会「教育環境」、にぎわい部会「西成区の情報発信」、安全あんしん部会「災害時の備え」)について、委員の方々からご意見をお聴きしました。また、第2回各部会開催時には、今後のより活発な意見交換につなげるため、区内の取組みの様子を見学しました。こども部会では中学校の出前授業の様子、にぎわい部会では大阪フィルハーモニー会館、安全あんしん部会では区役所備蓄倉庫を見学しました。



## ご寄附に対して市長感謝状を贈呈いたしました

中谷充秀様より、多額のご寄附をいただきましたので、臣永区長より市長感謝状を贈呈しました。いただきました寄附金は、西成区のさまざまな事業に活用させていただきます。



あたたかいご支援、ありがとうございました。

## 第23回 全国障害者スポーツ大会へ西成区の選手が派遣されます

10月に佐賀県で開催される第23回全国障害者スポーツ大会に、西成区の選手が5名派遣されますので、ご紹介します。

- 西田 節子 選手(バレーボール) 上原 正志 選手(フライングディスク)
- 南 智司 選手(陸上競技) 池田 道子 選手(ボウリング)
- 久保 大樹 選手(水泳)

みんなで応援しましょう!

## SDGsの取組みが広がっています みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト

大阪市では、使い捨てプラスチックであるペットボトルをボトルからボトルなどへ資源循環させるため、新たなペットボトル回収に取り組んでいます。この取組みは、資源ごみとして家庭から出されるペットボトルを、地域コミュニティ(地域活動協議会・連合振興町会)と参画事業者が連携協働して回収し、売却益を地域コミュニティへ還元するものです。プラスチックの資源循環を推進し、SDGsの達成に貢献する活動です。

### ●取り組んでいる地域の声を聞いてみよう!



南津守連合振興町会 吉村会長

南津守連合振興町会では、令和5年10月よりこのプロジェクトに参画しています。日常生活でよく使用されるペットボトルを水洗いし、キャップとラベルを外して出すだけなので、誰でもSDGsの取組みに参加いただくことができ、環境保護を考える良いきっかけになっています。また、地域一帯で一つのプロジェクトに取り組んでいることは大変意義深いことです。これからも、皆さまと協力しながら取り組んでいきます。

## 第68回 西成区民体育レクリエーション大会

日時 10月20日(日)9:30開会  
予定競技種目 玉入れ、100人でジャンプ、サイコロコロコロリレー など ラッキーカード抽選会もあります  
場所 大阪市立成南中学校グラウンド  
申込み (一財)大阪市コミュニティ協会西成区支部協議会  
問合せ 西成区民センター1階 コミュニティ事業事務局 ☎06-6652-8461



## 10月にしなりのジャガピーパーク

詳細は、にしなりジャガピーパークのホームページなどでお知らせします。  
問合せ 保健福祉課(子育て支援) 5階52番窓口 ☎06-6659-9824

日	月	火	水	木	金	土
6	13	20	27			5

- もと今宮小学校
- もと松之宮小学校

## 区長の部屋 すごいぞ西成 世界のにしなり

西成区の人口は現在10万5千人余り。その1割以上の約1万5千人が外国籍です。とくに多いのが中国とベトナムでそれぞれ3,500人前後ですが、最近ではネパール、インドネシア、バングラディッシュ等が急増中です。世界81ヶ国、ウクライナも2人おられます。

なかでもベトナムの皆さんは太子交差点近くに「NPO日越支援会」を設立し、日本とベトナムの交流、友好に力を入れており、今春には大阪城公園で盛大にベトナムフェスティバルを開催。日常生活でも区内の防災訓練に積極的に参加し、能登半島地震支援では西成の「大阪災害ボランティア」と共に現地入りし、被災したベトナムの方々の生活相談等で活躍したそうです。

メンバーも20歳から30歳代の若者が多く、さまざまな活動に意欲的に取り組んでいます。来年は西成区制100周年の節目の年。街も人も、世界と交流し世界に向けて伸びていくことを願います。



今回のテーマは「豊かな人間関係」です。

## 人権コラム

### 人の気持ちへの寄り添い方 ～人権相談を通して～

片山 京子さん

(一般社団法人おおさか人権ネットワーク)



私は現在、大阪市人権啓発・相談センターで人権相談業務を担っていますが、振り返れば人権に関わる仕事を始めて、四半世紀になります。

この仕事を始めたきっかけは子育てをする中で「子どもへの暴力防止プログラム(CAP)」という活動に出会ったことです。CAPとは、子どもたちがいじめや誘拐、虐待などの暴力に出会ったときに「何が出来るか」など、自分の心とからだを守るためのプログラムです。その中の大切なキーワードの一つに「誰か、信頼できる人に相談する」があります。この「誰かに相談する」というのは、子どもたちだけでなく、私たち大人にも共通する自分を守るための大切な方法です。

#### 「気持ちに寄り添うとは…」

相談を聴く現場では「相談者の気持ちに寄り添って」、「相談者に寄り添うように話を聴きましょう」とよく言います。皆さんも「確かに人に寄り添うということは大切な」と感じていると思いますが、「気持ちに寄り添う」って具体的にどうしていいかわからない」と思っている人もいるでしょう。

人は傷ついたり悩んだりしているとき、家族や友人がそばにいてくれるだけで心強い気持ちになります。言葉での励ましやなぐさめは無くても、ただそばにいてくれるだけでいいのです。もし、あなたが大切な人や家族から相談された場合、まずは「あなたは一人ではないよ、私がそばにいるからね」というメッセージを一番に伝えてもらえたらと思います。そして、その人の辛い気持ちや悲しい気持ちを、ただ聴いてあげるといことが、落ち込んでいる人の本来持っている力を回復させることにもつながります。だって「寄り添う」の本来の意味は、もたれかかる・そばに寄り添う、という意味ですから。

#### 「相談者の思いを純粋に受け止める」

大切に思う人が困っていると、心配のあまり、私たちがついやってしまうことで注意しないといけないことがあります。

- ◆「こうすればうまくいくよ」や「こんなふう考えたらいい」など、アドバイスを押し付けてしまうこと
  - ◆「私がなんとかしてあげる」など、できない約束をすること
  - ◆「なぜ?」「どうしてそうなった?」など、いろいろと質問すること
- こういったことは、良かれと思ってしたことでも、相手を傷つけてしまうことがあります。そのことに注意しながら、心のこもった相槌を打つなど、相談者の思いを純粋に受け止めていくことを意識することが大切で、「人の気持ちに寄り添える人」への第一歩になるでしょう。

## 10月 イベントカレンダー

4日(金)	法律相談 [3画]
8日(火)	移動図書館まちかど号巡回日(北津守小学校体育館前) [4画]
9日(水)	地域結核健診(もと今宮小学校運動場) [3画]
	外来糖尿病教室のお知らせ [3画]
10日(木)	移動図書館まちかど号巡回日(南津守小学校通用門) [4画]
11日(金)	花と緑の相談 [2画]
	大腸がん検診、肺がん検診、特定健診、歯科相談 [9月号]
13日(日)	えいごであそぼう! [4画]
15日(火)	法律相談 [3画]
16日(水)	大腸がん検診、乳がん検診、骨量検査、特定健診、歯科相談 [3画]
17日(木)	老後の不安解消セミナー [4画]
18日(金)	不動産相談 [3画]
	みんなの健康展 [1画]
19日(土)	地域結核健診(西成区役所東側) [3画]
	ブックスタート [4画]
20日(日)	第68回 西成区民体育レクリエーション大会 [12画]
21日(月)	懐かしい歌をみんなで歌おう [4画]
22日(火)	花と緑の相談車「ひふみ号」での講習会 [2画]
	フードライブ [4画]
24日(木)	老後の不安解消セミナー [4画]
27日(日)	西成しごと博物館 [1画]
	日曜開庁 [12画]
31日(木)	老後の不安解消セミナー [4画]

